

令和7年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 学校教育課

シート No. : 42

作成日： 2026.5/12

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅲ学校教育・生涯学習の推進	事務事業の背景・目的 児童生徒が健やかにかつ心穏やかに学校生活を送るためには、日中長い間子どもたちが過ごす学校施設や、朝夕登下校する通学路が安心安全なものでなければなりません。 ・施設は老朽化が日々進行しており、建物や設備の不具合が頻繁に生じております。不具合により、学校の運営に支障（休校等）を生じさせないためには、迅速な対応が求められております。 ・全国的にみて児童生徒の登下校中の事故は多く発生していることから、その安全確保が必要です。そこで、本市においても関係機関との連携体制や安全点検の実施方法などを定める「常総市通学路交通安全プログラム」を策定し、通学路の安全確保に向けた取組を行います。	事務事業の目標 ・施設の不具合により、学校の運営に支障（休校等）をきたすことがないように、修繕の発注及び関係機関との調整を迅速に実施するとともに、施設の更新についても計画的に実施していくことで不具合の発生を予防します。 ・通学路の安全確保については、毎年度、学校が把握している危険箇所について「常総市通学路交通安全プログラム」に基づいた対策として、関係機関との連携による安全点検を実施し、必要な安全対策について協議を行い、危険箇所の改善に取り組みます。
	施策の目標	1 学校教育を充実し、次世代を育てる		
	施策	1 学校教育		
	施策内容	教育環境の充実		
その他、根拠法令及び分野別計画等		—		
事務事業名		安全安心な学校生活の維持・創出		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 7 予算額	R 7 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 7 活動・事業内容	指標（単位）	R 7 目標値	R 8 目標値		
			R 7 実績値	R 9 目標値		
学校施設の修繕・工事 （R7）	学校施設の修繕・工事	修繕・工事件数 （件）	—	—	345,440 千円	92,832 千円
			129	—		
通学路交通安全推進会議の開催 （R7・8・9）	関係機関との連携のために通学路交通安全推進会議を実施する。	会議の開催（回）	2	2	0 千円	千円
			2	2		
市ホームページの更新 （R7・8・9）	学校から指摘があった当該年度の改善要望箇所及び改善箇所を公開する。	ホームページの更新回数（回）	3	3	0 千円	千円
			2	3		
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 7 実績値
施設の不具合に起因する休校日数	0 日	0 日
通学路危険箇所の改善率	100%	54.5%

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
	☐ コスト	☒ 活動	☒ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
・老朽化が原因で建物や設備の不具合が頻繁に生じておりますが、学校の運営への支障（休校等）を回避するため、関係機関との迅速な調整を図り、修繕等の事後保全を遅滞なく実施いたしました。 ・通学路の危険箇所について、「常総市通学路交通安全プログラム」に基づき、学校等に改善の要望箇所を挙げてもらい、その案件について、県警察署、県工事事務所及び市関係各課と協議・連携し、最善の対策を講じております。	今後予定されている学校の統廃合を考慮し、費用対効果を考えた上で、建物や設備の更新といった予防保全を実施し、不具合を未然に防ぐことで、学校の運営に支障（休校等）をきたすことがないように努めていきます。 また、安全安心な登下校に資するため、把握した危険箇所については取り得る最善の対策を講ずることにより改善を図って参ります。			

※については、数値が確定次第入力いたします。